

長倉商店塾 集中講座・特別講座 2026 ご案内

【集中講座・特別講座 共通事項】

◎会場 北海道釧路市新富町 16-12 (川北交番より共栄小に向かい徒歩 1 分)

◎受講料 各期 16,000 円

※高校生無料

※当日現金でのお支払いのみとさせていただきます。

◎時間割 1 日目 ①13:00~14:10 ②14:40~15:50

2 日目 ③10:00~11:10 ④12:10~13:20 ⑤13:50~15:00

※お昼休み 11:10~12:10

◎申込方法 5/10(日)より、長倉洋海ホームページ内申込フォームに入力、または下記のお問い合わせ先にお電話にてお申込みください。

・長倉洋海ホームページ <https://www.h-nagakura.net/>

◎お問い合わせ先 長倉商店塾を応援する会 事務局

MAIL:nagakura.store@gmail.com

TEL:080-4504-1119(17 時以降)

■ 商店塾ギャラリー写真展のご案内

講座開催日には、隣接する商店塾ギャラリーにて、長倉洋海写真展を同時開催いたします。ぜひご観覧ください。

展示内容については、決定次第ご案内いたします。

※入場無料(受講者以外の方も、どなたでもご覧いただけます)

※講座開催時のみの展示です。ご注意ください。

■長倉洋海による作品講評について

希望する方は、自分で撮影した写真作品を長倉洋海に見てもらい、講評をもらうことができます。講評を希望される方は、申込の際に「講評希望」とお知らせください。

詳細は別途メールでご案内いたします。

※講評は、各期講座終了後(2 日目の⑤講義終了後)となります。

(集中講座・特別講座 共通事項)

集中講座 2026 『地球がザワザワ、人にドキドキ』

今の混沌とした時代状況を読み解くには、人間を知ることが第一ではないだろうか。戦争と環境破壊で現代に混乱を引き起こしているのは「人間」だから。

大河の源流の一滴。いつか大きな流れとなって、大海に注ぐ。それが水蒸気となって天に上がり、さらには雲となって大地や故郷に雨を降らす。それは人の人生のようなもの。だが、いまの時代、その「川」の流れは断ち切られ、どこへ辿り着くのかが見えない。だから、人々は不安を覚えるのではないだろうか。

私が世界各地で出会い、魅かれた人たちは、自分の中に「見上げる空」を持っていた。魂を横たえることができる「草原」を持っていた。そんな人たちとの出会いや彼らの言葉から、私たちの現在地を照らしてみたい。

長倉洋海

◎日程

- ・第1期 8/1、2(土日) 『時代のパズルを読み解くために』
- ・第2期 9/12、13(土日) 『蒼き空に歌い、草原に横たわれ』

◎定員 各期 15名

◎ 講座内容

■第1期 『時代のパズルを読み解くために』 8/1、2(土日)

以前にも増して混沌の度合いを強めている現代。時代に流され、漂流しないためのものを持っていた人たちの姿と声を紹介し、読み解くヒントとしたい。

- ①「自分ファースト」の時代。それでも万人の心に迫る生き方がある。
- ②戦禍を生き抜いてきたコソボのザビット一家との出会いとその後
- ③交易の路シルクロードで出会った人びとと歴史
- ④アマゾンのクリカチ族は、森や自然とどう向き合っているか
- ⑤森の賢者アユトン・クレナックは世界をどう捉えているか

■第2期 『蒼き空に歌い、草原に横たわれ』 9/12、13(土日)

人は空に向かって声をあげて歌い、祈る。なんのために。

世界各地の人の姿に、その答えを探る。

- ① アフリカ由来の信仰「カンドンブレ」と黒人たち
- ② アフガニスタン抵抗運動の指導者マスードの祈り
- ③ 極北のシベリアで生きるトナカイ遊牧民ネネツ
- ④ 水俣・沖縄への旅
- ⑤ 世界の子どもたちとの出会いと再会

(集中講座)

長倉商店塾 特別講座 2026 『写真集をつくる～写真集づくりの実際』

写真集を作ろうとすることで、「写真の深さ」が見える。同時に、一気に写真に近づくことができる。自分の写真から新しい発見をしよう。それを写真集という物語にすることで、写真へのアプローチの新しい形が見えてくる。

◎日程 8/29、30(土日)

◎定員 5名

1名ずつ作品講評と写真集づくりを行なうため、少人数となります。

◎ 講座内容

写真集を作成する段階を、長倉洋海が自身の著作作成時の実物見本を見せながら説明し、参加者は長倉にアドバイスをもらいながら、自分なりの写真集のイメージを作ってみる講座。他の参加者たちの「現実の世界」に対する様々な捉え方にも触れることで、「目の前の風景」や「そこに在るもの」への新しい視点が生まれるのではないだろうか。光と陰、まばゆきときらめき、そして、「存ること」の奥深さを、より具体的に「捉える」方法を模索する。

※参加者には課題として10枚程度の写真作品を持参してもらい、ワークショップ形式で実際に写真を並べる等を行ないます。準備等の詳細については、お申込み後にご連絡いたします。

① 写真展の実際

② 写真集作成の実際～印刷の現場から

※東京印書館プリンティングディレクター 高柳昇氏による特別講義

③ 写真集づくりを考える (持参した作品を使った実践)

④ 写真集づくりを考える (実際の指導→発表)

⑤ 写真集づくりを考える (発表および講評、質疑応答)

※特別講座は、課題で提出いただいた写真作品を講評します。

課題以外で別途講評希望の方は、申込時にお知らせください。

課題以外の講評は、2日目の最終講義後に行ないます。

(特別講座)